

# 2020年度事業報告案

## 1. 全般

2017年5月の学会設立以来まだ4年たっていないが、会員数は600名を超え（2020年12月末）、順調に発展してきていると言えよう。しかしながら新型コロナウイルス感染症の影響は当学会にも及び、国立情報学研究所で開催する予定の第4回研究大会は第5回研究大会という形で実質延期され、それも東京大学での開催予定がすべてオンラインでの実施となった。その一方で、全面オンライン方式となることで地方からの参加が容易となり、また開催日が限定されないサテライト・ワークショップの実施など、新しい研究大会の開催形式を試す良い機会にもなった。学会誌の発行、『デジタルアーカイブ・ベーシック』第3巻・第4巻の発行、第3回学会賞の選考などは当初予定どおり行うことができた。

各部会、委員会、SIGもそれぞれ活発に活動を展開したが、特に法制度部会では部会内で詳細な検討を重ねると共に、ラウンドテーブル等を開催して広く学会員や外部関係者の意見を聞きながら、「肖像権ガイドライン」をまとめ上げたことは、学会の社会的意義を高めるうえでも特筆に値しよう。なお、新たなSIGとして、「新型コロナウイルス感染症に関するデジタルアーカイブ研究会」と「戦争関連資料の保全・継承に関する研究会」が発足した。また、学会活動の発展に合わせた組織運営を行うため、部会等の再編成に係る検討を理事会で重ね、産業部会等の新設を含む大幅な組織再編案をまとめた（2021年4月から施行）。

## 2. 役員等 (所属は 2020年4月1日現在)

会長 長尾 真（京都大学名誉教授）

会長代行 吉見 俊哉（東京大学大学院情報学環 教授）

### 顧問

後藤 忠彦（岐阜女子大学 前学長）

佐々木 正峰（元文化庁長官）

高山 正也（前国立公文書館長）

### 理事

生貝 直人（東洋大学 准教授）

井上 透（岐阜女子大学文化創造学部 教授）

今村 文彦（東北大学災害科学国際研究所 所長・教授）

北本 朝展（ROIS・DS 人文学オープンデータ共同利用センター センター長／国立情報学研究所 教授）

黒橋 禎夫（京都大学大学院情報学研究科 教授）

坂井 知志（国士舘大学 スポーツアドミニストレーター）

柴野 京子（上智大学 准教授）

杉本 重雄（筑波大学 名誉教授）

高野 明彦（国立情報学研究所 教授）

時実 象一（東京大学大学院情報学環 高等客員研究員）

林 和弘（文部科学省科学技術・学術政策研究所 上席研究員）

原田 隆史（同志社大学大学院総合政策科学研究科 教授）

細井 浩一（立命館大学映像学部 教授・アート・リサーチセンター長）

福井 健策（弁護士・日本大学芸術学部客員教授）

藤田 高夫（関西大学 教授）

水島 久光（東海大学文学部 教授）

宮本 聖二（立教大学 教授）

柳 与志夫（東京大学大学院情報学環 特任教授）

山川 道子（株）プロダクション・アイジーアーカイブチームリーダー）

渡邊 英徳（東京大学大学院情報学環 教授）

### 監事

重田 勝介（北海道大学付属図書館 研究開発室員・准教授）

東 由美子（国際ファッション専門職大学 教授）

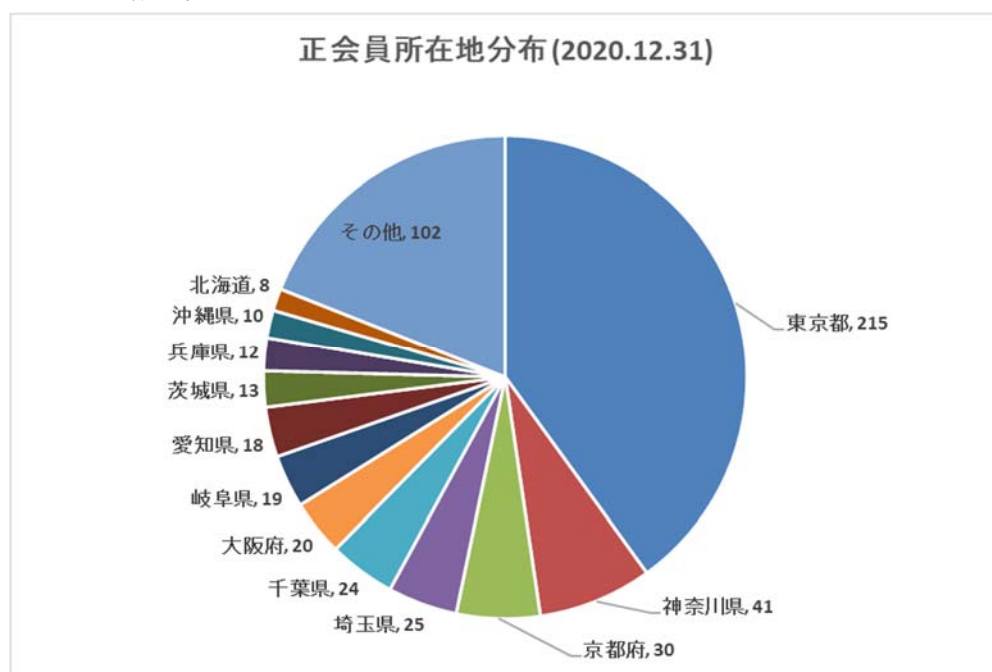
**評議員**（肩書は就任当時）

青木 敬士（日本大学 芸術学部文芸学科 教授）  
浅野 隆夫（札幌市中央図書館 図書・情報館 担当係長）  
安藤 久夫（NPO 法人日本アーカイブ協会 理事）  
伊勢 博（株）アーキネット 代表取締役）  
大久保 ゆう（本の未来基金 運営委員）  
太下 義之（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 芸術・文化政策センター長）  
大西 亘（神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸員）  
岡室 美奈子（早稲田大学 坪内逍遙記念演劇博物館 館長）  
久世 均（岐阜女子大学 教授）  
糸川 麻里生（慶応義塾大学文学部教授）  
齋藤 義朗（長崎県 文化観光国際部文化振興課 主任学芸員）  
数藤 雅彦（五常総合法律事務所 弁護士）  
砂川 浩慶（立教大学社会学部メディア社会学科 教授）  
瀬尾 太一（日本写真著作権協会 常務理事）  
平良 斗星（公益財団法人みらいファンド沖縄 副代表理事）  
谷 里佐（岐阜女子大学 教授）  
田良島 哲（東京国立博物館 博物館情報課）  
長丁 光則（デジタルアーカイブ推進コンソーシアム事務局長）  
仲野 寛（島根大学 教育・学生支援機構生涯教育推進センター 教授）  
濱崎 好治（川崎市民ミュージアム 副館長）  
原田 悦志（株）日本国際放送/NHK 国際放送局付 チーフプロデューサー）  
福島 幸宏（京都府立図書館 副主査）  
細矢 剛（国立科学博物館、植物研究部 グループ長）  
前川 道博（長野大学 企業情報学部 教授）  
又吉 斎（沖縄女子短期大学 講師）  
町 英朋（常磐大学 総合政策学部総合政策学科 准教授）  
松岡 資明  
真鍋 真（国立科学博物館 標本資料センター コレクションディレクター）  
皆川 雅章（札幌学院大学 教授）  
三宅 茜巳（岐阜女子大学 大学院文化創造学研究科長 教授）  
山崎 博樹（知的資源イニシアティブ）  
油谷 曉（奈良先端科学技術大学院大学 総合情報基盤センター 助教）

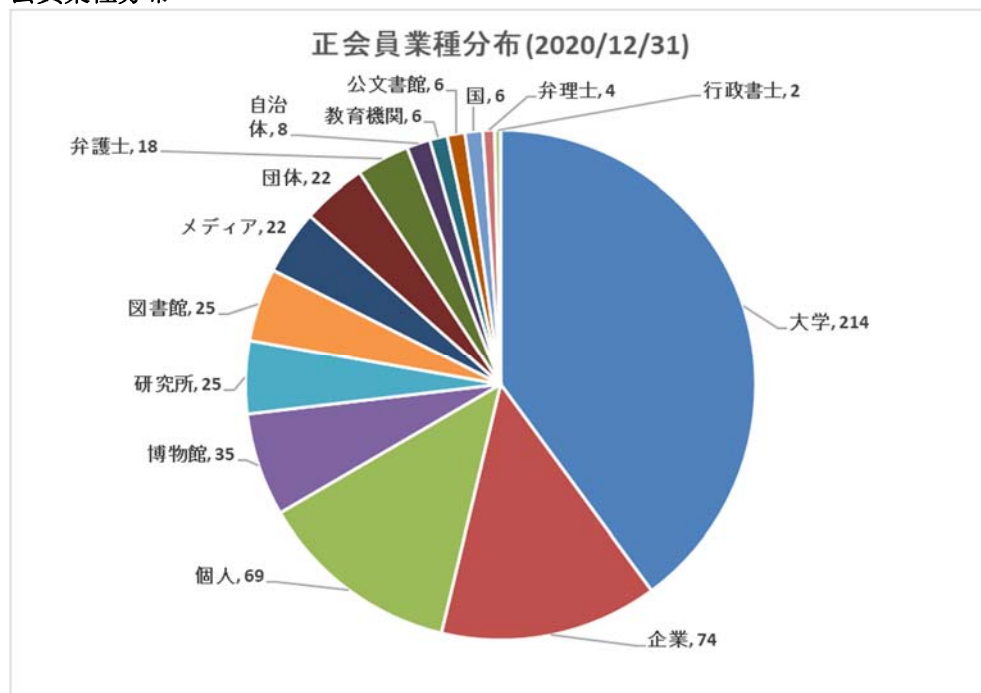
### 3. 会員 (2020/12/31 現在)

種別		2017年 度会員	2018 年度会 員	2019年 度会員	2020年 度入会	2020年 度退会	2020年 度会員	2021年 度退会 予定者
正会員	全期	247	351	412	65	15	488	28
	半期	20	23	26	26		26	
	合計	267	374	438	91	15	514	
学生会員		25	34	33	13	6	40	3
賛助会員		29	39	46	10	2	54	3
合計		321	447	517	114	23	608	34

#### 会員地域分布



#### 会員業種分布



## 4. 会議開催状況

### 4.1 総会

#### (1) 2020 年度通常総会 (議決権行使)

デジタルアーカイブ学会規約第 17 条～19 条に従って会員の議決権行使をお願いした結果、下記の結果となった。

実施期間: 2020/5/25～2020/6/5

対象会員数 (2020/5/25 現在)

正会員 469 名、学生会員 39 名、賛助会員 52 名

合計 560 名

議決権行使数 263 名、うち重複 19 件を除き、有効 244 件(メールでの議決権行使 3 名を含む)。なお期日までに議決権行使しなかった会員 316 名については各議案について賛成とみなした。

決議事項および報告事項

##### 【決議事項】

第 1 号議案 2019 年度財務諸表等の承認

1-1. 2019 年度事業報告 [資料-1]

1-2. 2019 年度財務諸表等 [資料-2]

1-3. 2019 年度監査報告書 [資料-3]

議決結果

第 1 号議案 2019 年度財務諸表等の承認

承認 563 (議決権非行使会員数 319 名を含む) 非承認 0

第 1 号議案の承認数は、行使された議決権の過半数を上回り、承認された。

#### (2) 2020 年度第 1 回臨時総会(議決権行使)

デジタルアーカイブ学会規約第 17 条～19 条に従って会員の議決権行使をお願いした結果、下記の結果となった。

実施期間: 2021/3/15～2021/3/29

対象会員数 (2021/3/15 現在) (2021 年度会員で理事会で入会承認されたものも含む) 正会員 526 名、学生会員 40 名、賛助会員 56 名合計 622 名

議決権行使数 フォーム利用 214 名、メール利用 7 件合計 221 件から重複 10 件を除き、有効 211 件。なお期日までに議決権行使しなかった会員 411 名については各議案について賛成とみなした。

##### 【決議事項】

第 1 号議案 2021 年度計画等の承認

1-1. 2021 年度事業計画書 [資料-1]

1-2. 2021 年度収支予算書 [資料-2]

議決結果

承認 620 (議決権非行使会員数 411 名を含む) 非承認 2

第 1 号議案の承認数は、行使された議決権の過半数を上回り、承認された。

第 2 号議案 第 3 期役員選任 [資料-3]

議決結果

承認 621 (議決権非行使会員数 411 名を含む) 非承認 1

第 2 号議案の承認数は、行使された議決権の過半数を上回り、承認された。

第 3 号議案 名誉会長・顧問選任

第 2 号議案の役員承認にともない交代される現長尾真会長を名誉会長および顧問に選任する。

議決結果

承認 621 (議決権非行使会員数 411 名を含む) 非承認 2

第 3 号議案の承認数は、行使された議決権の過半数を上回り、承認された。

第 4 号議案 学会規約改正 [資料-4] (変更点は赤字で示しています。解説資料も参照してください)[解説資料]

議決結果

承認 619 (議決権非行使会員数 411 名を含む) 非承認 3

第 4 号議案の承認数は、行使された議決権の過半数を上回り、承認された。

## 4.2 理事会

### (1) 第1回理事会

日時:2020年5月1日(金)10:00～12:00

形式:オンライン

出席:(五十音順) 吉見(会長代行)

理事:生貝、井上、今村、北本、黒橋、柴野、杉本、高野、時実、林、原田、細井、藤田、水島、宮本、柳、山川、渡邊

オブザーバー: 福島

#### 【報告事項】

1. 第4回研究大会の延期と第5回研究大会の開催について  
コロナ感染の拡大にともない、第4回研究大会は実質延期し、第5回研究大会として10月17日18日に延期することを会長代行が決定したことが報告された。
2. 第3回(4/25)肖像権ガイドライン円卓会議の開催報告
3. 『デジタルアーカイブ・ベーシックス 第3巻 自然史・理工系研究データの活用』の刊行(4/20)報告
4. 第2期評議員の選任報告

#### 【審議事項】

1. 2019年度事業報告案および決算報告案を承認
2. 2020年度事業計画案および決算修正案を承認
3. 2020年度通信総会実施案を承認
4. 会員の入退会の承認
5. 第5回研究大会開催の基本方針  
会員の発表機会を確保するため、第5回研究大会で一般発表を募集する。ただし、テーマ等条件設定をおこなう、発表が中止される可能性に言及する、募集数を制限するなどについて実行委員会で検討する。
6. その他  
SIG「コロナウィルス感染拡大下におけるデジタルアーカイブ研究会」の設置を承認
7. 部会再編成の方針について(意見交換)  
柳総務担当理事より、次の案件について説明があった。  
(1) 人材育成部会及びコミュニティアーカイブ部会の統合  
(2) 技術部会の再編  
(3) 新規部会の設置(産業部会など)  
(4) その他

### (2) 第2回理事会

日時:2020年8月5日(水)10:00～12:00

形式:オンライン

出席:(五十音順) 吉見(会長代行)

理事:生貝、井上、今村、北本、黒橋、柴野、杉本、高野、時実、福井、細井、藤田、水島、宮本、柳、山川

監事: 東

オブザーバー: 長丁、福島

#### 【議題】

第5回研究大会(2020年10月17日～18日、東京大学本郷キャンパスで開催予定)の開催可否について

第5回研究大会はオンラインで実施することと決定。具体的な実施方式は実行委員会で検討する。なお以下の点を柳理事・実行委員長の考えとして提言した。

- (1) 一般発表の応募が23件ある。第4回大会の未発表分を足して、10月17日・18日の2日に分けて行う。
- (2) 掲示されているワークショップは9件だが、2件のみ大会期日内に実施、残り7件は大会期日の前後にシリーズとして行なうことを検討する。
- (3) 赤松先生の特別講演とシンポジウムはリアルに実施することに意味があるので実施は見送った

い。

(4) 授賞式はリアルでやらないと意味がないので、第6回研究大会で同時に行いたい。

(5) 法制度部会の法律相談もオンライン実施で検討。

### (3) 第3回理事会

日時:2020年9月28日(月)16:00～17:40

形式:オンライン

出席:(五十音順) 吉見(会長代行)

理事:生貝、北本、坂井、柴野、時実、原田、林、福井、細井、水島、宮本、

柳、山川、渡邊(欠席:井上、今村、黒橋、杉本、高野、藤田)

監事:東(欠席:重田)

オブザーバ:長丁、福島

#### [議事]

(1) 第5回研究大会プログラムの報告

(2) 会員入退会承認と会員数報告

(3) 研究大会予稿集をオンライン化(J-STAGE)することに伴い、学会誌通常号を年4回発行する案が編集委員会より提案されたので、議論の上承認した。

(4) 正会員半期会員(会費減免)募集を昨年度に引き続き実施することを承認した。

(5) 部会等の新設・再編成(人材養成部会とコミュニティーアーカイブ部会の発展的統合(地域アーカイブ部会)と、産業部会(仮称)の新設)について柳総務担当理事より説明があり、議論を行った。人材養成については委員会の設置に向けて検討することとし、この提案の方向について合意した。

次の理事会で具体案を議論する。また、沖縄部会の設置可能性について検討することとなった。提案されているSIG「戦争関連資料の保全・継承に関する研究会」を設置することを承認した。

### (4) 第4回理事会

日時:2020年11月24日(火)16:00～17:40

形式:オンライン

出席:(五十音順) 吉見(会長代行)

理事:生貝、井上、今村、北本、坂井、柴野、杉本、時実、林、福井、水島、宮本、柳、山川(欠席:黒橋、高野、原田、細井、藤田、渡邊)

監事:(欠席:東、重田)

オブザーバ:長丁、福島

#### [議事]

(1) 法制度部会肖像権ガイドラインの今後の扱いについて検討した結果、次のように進めることとなった。

a. 法制度部会にてVer. 4を検討し固める。(12月)

b. 学会として一般に向けたパブリックコメント募集(12月～1月頃)

c. パブリックコメントをふまえ、理事会と部会で並行して検討する。(3月まで)

d. 2021年春に学会公認バージョンを公表する。

(2) 部会等再編案について以下の通り決定した。

a. 人材養成部会の廃止と「人材養成・活用検討委員会(仮称)」を設置、委員長は井上理事とする。

b. コミュニティーアーカイブ部会から「地域アーカイブ部会」への再編成をおこない、部会長は宮本理事とする。

c. 「産業部会(仮称)」を新設することとし、その名称と活動内容については引き続き検討することとした。

(3) 第6回研究大会開催概要案及び準備状況について報告があった。

(4) 第3期会長・理事・監事の選任について審議し、方針を決定した。

(5) 会員入退会について承認した。

(6) DNP 寄付講座の学会担当事務職員の退職があるので、学会事務の外部委託を前倒して実施することが承認された。

(7) 東大情報学環 DNP 寄付講座主催のラウンドテーブル「デジタル公共文書を考えるー公文書・団体文書を真に公共財にするためにー」の後援を承認した。

## (5) 第5回理事会

日時:2021年2月1日(月)15:00~17:15

形式:オンライン

出席:(五十音順) 吉見(会長代行)

理事:生貝、今村、北本、黒橋、坂井、柴野、杉本、高野、時実、林、細井、福井、藤田、水島、宮本、柳、山川、渡邊(欠席:井上、原田)

監事:(欠席:東、重田)

オブザーバ:福島

### [議事]

(1) 第6回研究大会開催方式の決定(検討事項)

新型コロナウイルス感染拡大状況から見て、オンラインをメインで、一部オンサイトでやる方向で、2月末または3月初めに決定をおこなうこととした。

(2) 2020年度計画等の承認、理事の選任を議題とする臨時総会(通信総会)を3月15日~3月26日議決権行使、3月29日に結果通知で実施することが承認された。

(3) 第3期(2021年度・2022年度)理事及び監事候補者の決定(資料02,03)

柳総務担当理事より候補の説明があった。現理事は再任することとし、8名の新理事の提案があり、承認された。

(4) 2021年度事業計画案及び予算案の審議し、承認された。

(5) 部会等再編について

1. 人材養成部会の廃止と「人材養成・活用検討委員会」の設置では、初代委員長は井上透理事とし、委員も理事会で選任する。

2. コミュニティアークライブ部会から「地域アーカイブ部会」への再編成では、初代部会長は引き続き宮本理事とする。

3. 「産業とデータ・コンテンツ部会(仮称)」の新設では、初代部会長を黒橋禎夫理事とする。との案が承認された。

(6) 会員入退会承認が承認された。

(7) 第3回学会賞選考結果が承認された。

(8) その他

## (6) 理事懇談会

日時:2020年8月5日(水)13:00~15:00

形式:オンライン

[議事]

- ・部会等再編成について

## (7) 理事懇談会

日時:2021年3月2日(火)10:00~12:00

形式:オンライン

[議事]

- ・編集委員会規程改訂案
- ・規約改定たたき台
- ・総会決議事項について

## (8) 理事懇談会

日時:2021年3月19日(金)10:00~12:00

形式:オンライン

[議事]

- ・肖像権ガイドラインの学会正式版承認について

## (9) メール審議

(2020/5/8) SIG「新型コロナウイルス感染症に関するデジタルアーカイブ研究会」による「COVID-19に関するアーカイブ活動の呼びかけ」承認

(2020/5/13) スピンオフ研究発表会実施の承認

(2020/8/5) JADH2020 後援の承認

(2020/8/14) 人文科学とコンピュータシンポジウム（じんもんこん2020）後援の承認  
 (2020/9/7) SIG ジャパンサーチ研究会の図書館総合展出展承認  
 (2020/10/25) 第25回情報知識学フォーラム後援の承認  
 (2020/11/25) 映画の復元と保存に関するワークショップ IN KYOTO パートナーの承認  
 (2020/11/21) ラウンドテーブル「デジタル公共文書を考えるー公文書・団体文書を真に公共財にするためにー」後援の承認  
 (2021/1/24) 2020 デジタルアーカイブ産業賞授賞式後援の承認  
 (2021/2/22) 第6回研究大会第1部プログラム案の承認  
 (2021/3/9) 2021年度予算案修正の承認  
 (2021/3/19) 会員入退会の承認

#### 4.3 第3回評議員会

日時:2021年1月26日(火)10:00~12:00

形式:オンライン

出席:評議員:青木敬士、荒木純隆、石川敬史、大久保ゆう、太下義之、大西 亘、緒方靖弘、久世均、糸川麻里生、塩雅之、数藤雅彦、砂川浩慶、田山健二、長丁光則、原田悦志、福島幸宏、前川道博、町英朋、皆川雅章、三宅茜巳、油谷暁

理事:生貝、吉見、柳、時実、北本、宮本

##### [議事]

- (1) 会員現況、部会・SIG、学会誌、出版、研究大会などについて現況の報告があった。
- (2) 理事および評議員から自己紹介を含め活動状況の報告や意見が述べられた。

#### 4.4 学会誌編集委員会

[委員](所属は2020年4月1日現在)

委員長 吉見 俊哉 (東京大学大学院情報学環 教授)

副委員長

井上 透 (岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所)、時実 象一 (東京大学大学院情報学環)

東 由美子 (東京大学大学院情報学環)、宮本 聖二 (立教大学大学院)、渡邊 英徳 (東京大学大学院)

委員

生貝 直人 (東洋大学)、今村 文彦 (東北大学災害科学国際研究所)、大西 亘 (神奈川県立生命の星・地球博物館)、大向 一輝 (国立情報学研究所)、岡室 美奈子 (早稲田大学坪内博士記念演劇博物館)、菊池 信彦 (関西大学)、古賀 崇 (天理大学)、後藤 真 (国立歴史民俗博物館)、坂井 知志 (常磐大学・大学院)、柴山 明寛 (東北大学)、高久 雅生 (筑波大学情報学群知識情報・図書館学類)、高野 明彦 (国立情報学研究所)、谷 里佐 (岐阜女子大学)、中村 覚 (東京大学)

原田 隆史 (同志社大学大学院総合政策科学研究科)、林 和弘 (文部科学省科学技術・学術政策研究所)、細井 浩一 (立命館大学)

会議名	日時	場所	出席者
2020年度第1回 編集幹事会	2020/7/16(木) 15:00-16:00	オンライン	井上、時実、東、宮本各副委員長
2020年度第1回 編集委員会	2021/2/3(水) 15:00-16:00	オンライン	吉見委員長、井上、大向、時実、東、宮本聖二各副委員長、生貝、岡室、菊池、坂井、後藤、高久、林、宮本隆史、渡邊、オブザーバ: 杉本
2020年度第2回 編集幹事会	2021/2/16(火)	オンライン	井上、時実、宮本、渡邊各副委員長、オブザーバ: 杉本

#### 4.5 研究大会実行委員会

##### (1) 第5回研究大会実行委員会

[委員]



委員長 柳 与志夫 (東京大学大学院情報学環)

委員

柴野 京子 (上智大学)、鈴木 親彦 (国立情報学研究所)、高野 明彦 (国立情報学研究所)、時実 象一 (東京大学大学院情報学環)、中西 智範 (早稲田大学 坪内博士記念演劇博物館)、中村 覚 (東京大学情報基盤センター)、橋本 雄太 (国立歴史民俗博物館)、原田 隆史 (同志社大学大学院総合政策科学研究科)、福島 幸宏 (東京大学大学院情報学環)、

会議名	日時	場所	出席者
第1回実行委員会	2020/4/7 (火) 15:00~16:30	オンライン	柳委員長、井関、大向、北本、柴野、鈴木、高野、時実、橋本、原田、平野、福島
第2回実行委員会	2020/5/8 (金) 16:00-17:45	オンライン	柳委員長、井関、大向、北本、柴野、鈴木、時実、中西、中村、平野、福島
第3回実行委員会	2020/7/30 (木) 11:00-12:00	オンライン	柳委員長、井関、大向、北本、柴野、鈴木、時実、中西、中村、福島
第4回実行委員会	2020/8/21 (金) 10:00-11:00	オンライン	柳委員長、大向、北本、柴野、鈴木、時実、中西、中村、橋本、原田、平野、福島
第5回実行委員会	2020/10/28 (水) 13:00-14:00	オンライン	柳委員長、北本、柴野、鈴木、高野、時実、中西、橋本、福島

## (2) 第6回研究大会実行委員会

[委員]

委員長 今村 文彦 (東北大学災害科学国際研究所長)

副委員長 柴山 明寛 (東北大学災害科学国際研究所)

委員

安倍 樹 (河北新報社 デジタル推進)、蝦名 裕一 (東北大学災害科学国際研究所)、加藤 諭 (東北大学学術資源研究公開センター史料館)、ゲルスタ ユリア (東北大学災害科学国際研究所)、菊地 芳朗 (福島大学うつくしまふくしま未来支援センター長、地域復興支援部門)、坂田 邦子 (東北大学情報科学研究科)、時実 象一 (東京大学大学院情報学環)、中川政治 (公益社団法人 3.11 みらいサポート)、ボレー セバスチャン (東北大学災害科学国際研究所)、南 正昭 (岩手大学 理工学部)、柳 与志夫 (東京大学大学院情報学環)

会議名	日時	場所	出席者
第1回実行委員会	2020/6/23 (火) 16:00-16:45	オンライン	今村委員長、ボレー、ゲルスタ、蛭名、坂田、加藤、菊池、南、柳、時実、柴山
第2回実行委員会	2020/12/21 (月) 16:00-17:00	オンライン	今村委員長、柴山、ボレー、ゲルスタ、蝦名、坂田、加藤、菊池、南、柳、時実、中川、安倍
第3回実行委員会	2021/2/9 (火) 17:00-18:00	オンライン	今村委員長、柴山、ボレー、ゲルスタ、坂田、加藤、菊池、柳、時実

## 4.6 第3回学会賞選考委員会

[選考委員会]

青柳 正規 (東京大学名誉教授・デジタルアーカイブ推進コンソーシアム会長)

長尾 真 (デジタルアーカイブ学会会長：委員長)

御厨 貴 (東京大学名誉教授・ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センター長)

吉羽 治 (講談社取締役)

吉見 俊哉 (東京大学情報学環教授・デジタルアーカイブ学会会長代行：作業部会長)

#### 【作業部会】

生貝 直人（理事、法制度副部長）、井上 透（理事、人材養成部長）、北本 朝展（評議員）、坂井 知志（理事、コミュニティアーカイブ部長）、高野 明彦（理事、技術部長）、時実 象一（理事、学会誌副編集長）、永崎 研宣、長丁 光則（デジタルアーカイブ推進コンソーシアム事務局長、評議員）、原田 隆史（理事、関西支部長）、福島 幸宏（評議員）、柳 与志夫（理事、総務担当）

会議名	日時	場所	出席者
第1回作業部会	2020/12/10(木) 13:00-14:20	オンライン	吉見部長、井上、亀田、坂井、高野、時実、永崎、福島、宮本、柳
第2回作業部会	2020/12/23(水) 13:00-14:30	オンライン	吉見部長、井上、嘉村、亀田、坂井、永崎、福島、宮本、柳
第1回選考委員会	2021/1/26(火) 13:00-14:00	オンライン	青柳（委員長代理）、御厨、吉羽、吉見（事務局：福島幸宏）

#### 【第3回学会賞受賞者】

##### 功労賞

アンドルー・ゴードン氏（ハーバード大学教授）

##### 実践賞

大網白里市教育委員会

沖縄アーカイブ研究所

久米川正好氏（NPO 法人 科学映像館を支える会）

チーム カルチュラル・ジャパン

東京大学学術資産アーカイブ化推進室

中村覚氏（東京大学史料編纂所）

##### 学術賞（研究論文）

機械学習のための資料レイアウトデータセットの構築と公開. 青池亨, 木下貴文, 里見航, 川島隆徳. *じんもんこん 2019 論文集*. 2019, 115-120.

ジャパンサーチを活用した小中高でのキュレーション授業デザイン：デジタルアーカイブの教育活用意義と可能性. 大井将生, 渡邊英徳. *デジタルアーカイブ学会誌*. 2020, 4(4), 352-359.

##### 学術賞（著書）

デジタル学術空間の作り方 仏教学から提起する次世代人文学のモデル. 下田正弘・永崎研宣 編. *文学通信*. 2019-12.

デジタルアーカイブの理論と政策. 柳与志夫著. 勁草書房. 2020-01.

#### 4.7 会員ウェブ懇談会

日時: 2020年5月26日(火) 13:00~14:30

方法: Zoom を用いたウェブ懇談会

参加者: 34名

#### 5. 研究大会

##### (1) 第4回研究大会

第4回研究大会は2020年4月25日(土)~26日(日)に国立情報学研究所において開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、実質的に延期となり、2020年10月17日(土)~18日(日)に第5回研究大会として開催することとなった。一般研究発表の予稿集は学会誌第4巻第2号として公開した。なお発表者のうち希望者には7月5日に開催した「スピンオフ研究発表会」で発表の機会を与えた。

##### (2) スピンオフ研究発表会

デジタルアーカイブ学会第4回研究大会での一般発表は中止となり、予稿集の公開のみとなったが、

発表予定だった講演の一部を「スピンオフ研究発表会」として研究発表会をおこなった。

- ・日時 2020年7月5日(日)
- ・発表件数 16件

### (3) 第5回研究大会

第5回研究大会は2020年10月17日(土)～18日(日)に東京大学において開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症が終息しないため、オンライン(Zoom)で下記のとおり実施した。特別講演とシンポジウムは中止となった。学会賞授賞式は第6回研究大会に延期された。

- ・日時 2020年10月17日(土)～18日(日)

なお「サテライト・ワークショップ」を2020年10月10日、16日、24日に実施した。

- ・開催方式 オンライン(Zoom)
- ・主催 デジタルアーカイブ学会
- ・協賛

デジタルアーカイブ推進コンソーシアム(DAPCON)

一般財団法人デジタル文化財創出機構

株式会社KADOKAWA

株式会社出版デジタル機構

一般財団法人日本児童教育振興財団

集英社

- ・後援

アート・ドキュメンテーション学会、記録管理学会、情報知識学会、情報保存研究会、情報メディア学会、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、東京文化資源会議、日本アーカイブズ学会、日本教育情報学会、日本出版学会、日本デジタル・ヒューマニティーズ学会、文化資源学会、本の未来基金

- ・参加者数: 研究大会登録 413名、実参加者 186名(10/17)、180名(10/18)

プログラム

- ・ワークショップ

(1) 8mm 動的映像のもつ資料価値を採掘する: その現状と展望 (2020/10/17)

(2) 肖像権ガイドライン実証実験の報告と今後の展開 (2020/10/18)

(3) デジタルアーカイブ論構築 (2020/10/10)

(4) アートシーンのデータ流通とコンテンツ活用 (2020/10/16)

(5) 自然史・理工系デジタルアーカイブの現状と課題 (2020/10/16)

(6) デジタルデータの保存・管理 - 現場視点からの共有課題を考える (2020/10/24)

- ・一般発表(予稿は「デジタルアーカイブ学会誌」第4巻S1号で公開)(2020/10/17, 18)
- ・製品・サービス紹介(2020/10/17, 18)

## 6. デジタルアーカイブ学会誌

### 6.1 発行状況

下記のとおり発行するとともに、約1.5月遅れでJ-STAGEに登載・公開した。

巻号	発行日	本文ページ数	広告数	発行部数	J-STAGE 公開日
第4巻第2号	2020/4/23	166p. (83-248)	0	J-STAGE オンラインのみ	2020/4/23
第4巻第3号	2020/7/1	80p. (249-328)	7	720	2020/8/24
第4巻第4号	2020/10/1	52p. (329-380)	3	740	2020/11/16
第4巻第S1号	2020/10/15	88p. (S1-S88)	0	J-STAGE オンラインのみ	2020/10/15
第5巻第1号	2021/1/12	74p. (1-74)	9	770	2021/2/22

## 6.2 論文投稿状況 (2019 年度および 2020 年度)

投稿日	種別	タイトル	掲載巻号ページ
2019/8/16	研究論文		不採択
2019/9/1	研究論文		不採択
2019/12/5	研究論文		不受理
2020/3/21	事例/報告		不受理
2020/5/27	研究論文	持続性と利活用性を考慮したデジタルアーカイブ構築手法の提案	5 巻 1 号, 56-60
2020/6/29	事例/報告	「肖像権ガイドライン (案)」実証実験・報告：新潟大学地域映像アーカイブの実例	4 巻 4 号, 360-366
2020/9/11	事例/報告	報道記事から見る岐阜の偉人たち	5 巻 3 号掲載予定
2020/11/8	事例/報告	COVID-19 が与えた影響による人々の生活意識に関する国際調査：パンデミック時の国際的な集合知のアーカイブを目指して	5 巻 2 号, 119-124
2021/3/3	事例/報告	災害時に発信される災害・防災情報の収集の実践と課題	5 巻 3 号掲載予定

## 7. デジタルアーカイブ・ベーシックス

5 巻シリーズとして、勉強出版より、以下のとおり刊行した。

巻	タイトル	著者	ISBN	発売日	ページ数
3	自然史・理工系研究データの活用	井上透 監修／中村 覚 責任編集	978-4-585-20283-7	2020/4/20	240p
4	アートシーンを支える	高野明彦 監修／嘉村哲郎 責任編集	978-4-585-20284-4	2020/12/4	312p

## 8. 各種活動

### 8.1 シンポジウム等

#### 第 3 回肖像権ガイドライン円卓会議

主催: デジタルアーカイブ学会法制度部会

日時: 2020 年 4 月 25 日 (土) 15:00~17:00 (延長あり)

形式: ウェブ会議システム

プログラム

ガイドライン第三次改訂版の報告

川野智弘 (弁護士)

ラウンドテーブル

< 討論者 (50 音順) >

- ・ 足立昌聰 (LINE 株式会社)
- ・ 内田朋子 (共同通信編集局ニュースセンター校閲部委員)
- ・ 大高崇 (日本放送協会放送文化研究所メディア研究部)
- ・ 宍戸常寿 (東京大学教授)
- ・ 数藤雅彦 (弁護士)

- ・中井秀範（日本音楽事業者協会専務理事）
- ・橋本阿友子（弁護士）
- ・原田健一（新潟大学教授）
- ・福井健策（弁護士・デジタルアーカイブ学会法制度部会長）：司会
- ・宮本聖二（立教大学教授）
- ・渡邊英徳（東京大学教授）

実証実験への参加機関公募及び今後の取組について  
福井健策 法制度部会長

## 8.2 定例研究会

2020年度は実施せず。

## 8.3 部会等

### 8.3.1 法制度部会

#### (1) 第3回肖像権ガイドライン円卓会議

前掲

#### (2) 第4回研究大会無料法律相談会

日時：2020年4月25日（土）

第4回研究大会の延期にともない、第5回研究大会の際にオンラインで実施。

#### (3) 部会例会

- 第21回 2020/4/14 デジタルアーカイブ法制、肖像権ガイドライン他
- 第22回 2020/5/21 肖像権ガイドライン、法律相談会他
- 第23回 2020/6/23 肖像権ガイドライン、絶版著作物活用他
- 第24回 2020/7/31 肖像権ガイドライン、アウトオブコマース他
- 第25回 2020/9/4 肖像権ガイドライン、アウトオブコマース、DAPCON シンポジウム他
- 第26回 2020/10/9 動向共有、肖像権ガイドライン、研究大会準備他
- 第27回 2020/11/9 動向共有、肖像権ガイドライン、アウトオブコマース、法律相談他
- 第28回 2020/12/8 動向共有、肖像権ガイドライン、アウトオブコマース、法律相談他
- 第29回 2021/1/13 動向共有、肖像権ガイドライン、アウトオブコマース、法律相談他
- 第30回 2021/2/15 動向共有、肖像権ガイドライン、アウトオブコマース、法律相談他
- 第31回 2021/3/5 動向共有、肖像権ガイドライン、アウトオブコマース、法律相談他

### 8.3.2 人材養成部会

#### (1) 第15回デジタルアーカイブ研究会

日時：2020年11月23日（月・祝）

会場：オンライン

主催：デジタルアーカイブ学会人材養成部会・コミュニティーアーカイブ部会、日本教育情報学会デジタルアーカイブ研究会・著作権等研究会、岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所[プログラム]

(なお人材養成部会は2020年度末で活動を停止し、その任務の一部は新設の「人材育成・活用検討委員会」と「地域アーカイブ部会」（旧コミュニティー・アーカイブ部会）が担う予定。)

### 8.3.3 コミュニティー・アーカイブ部会

「コミュニティー・アーカイブ部会」は2021年度から「地域アーカイブ部会」と名称を変更する。

### 8.3.4 技術部会

#### (1) 第14回CODHセミナー IIIIF Curation Platform 利活用レシピ100連発

- ・日時2021年2月18日（木）
- ・主催：ROIS・DS 人文学オープンデータ共同利用センター（CODH）
- ・共催：デジタルアーカイブ学会 技術部会

- ・形式：オンライン
- ・参加者：103名

### 8.3.5 SIG「デジタルアーカイブ理論研究会」

- 第11回研究会 2020/4/17 オンライン 『デジタル時代のアーカイブ系譜学』の企画書
- 第12回研究会 2020/5/22 オンライン 『デジタル時代のアーカイブ系譜学』の企画の推進
- 第14回研究会 2020/6/29 オンライン 『デジタル時代のアーカイブ系譜学』第3・4章の構想  
月尾嘉男氏へのインタビュー 2020/7/3 オンライン
- 第15回研究会 2020/7/28 オンライン 『デジタル時代のアーカイブ系譜学』第5・6章の構想
- 第17回研究会 2020/8/28 オンライン 『デジタル時代のアーカイブ系譜学』第7・8章の構想
- 第18回研究会 2020/10/2 オンライン 『デジタル時代のアーカイブ系譜学』第9章の構想、研究大会サテライト・ワークショップ(10/10)に向けての議論
- 第19回研究会 2020/10/30 オンライン 『デジタル時代のアーカイブ系譜学』第10・11章の構想
- 第20回研究会 2020/11/18 オンライン 『デジタル時代のアーカイブ系譜学』第12章の構想
- 第21回研究会 2020/12/23 オンライン 『デジタル時代のアーカイブ系譜学』第1・2章の詳細
- 第22回研究会 2021/2/16 オンライン 『デジタル時代のアーカイブ系譜学』第3・4章の詳細
- 第23回研究会 2021/3/18 オンライン 『デジタル時代のアーカイブ系譜学』第5・6章の詳細

### 8.3.6 SIG「ジャパンサーチ研究会」

#### (1) 研究会会合

第4回

- ・日時: 2020/8/11
- ・形式: オンライン
- ・ジャパンサーチ正式公開に際しての研究会の対応について

#### (2) 2020年度図書館総合展フォーラム「正式公開となったジャパンサーチを使ってみる」

- ・日時: 2020年11月6日
- ・形式: オンライン
- ・ジャパンサーチの新機能をもちいたハンズオン・ワークショップ
- ・参加者40名、YouTube視聴者数130名

### 8.3.7 SIG「COVID-19に関するアーカイブ活動の呼びかけ (SIG 新型コロナウイルス感染症に関するデジタルアーカイブ研究会)」

#### (1) 研究会会合

第1回

- ・2020/4/30
- ・形式: オンライン
- ・SIGの結成について議論

#### (2) COVID-19に関するアーカイブ活動の呼びかけ

2020年5月7日

#### (3) 学会誌第5巻第1号の特集に協力

「特集：新型コロナウイルス感染とアーカイブ」

- ・“フロー”を“ストック”する：COVID-19とデジタルアーカイブ 渡邊 英徳
- ・「議事概要」は、「議事録」に似て非なるもの 松岡 資明
- ・新型コロナウイルスとメディア 宮本 聖二
- ・デジタルパブリックヒストリーの実践としての「コロナアーカイブ@関西大学」 菊池 信彦, 内田 慶市, 岡田 忠克, 林 武文, 藤田 高夫, 二ノ宮 聡, 宮川 創
- ・世界のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症) 関連デジタルアーカイブ 時実 象一
- ・文化施設とCOVID-19アーカイブ 福島 幸宏
- ・COVID-19で図書館が直面した課題と可能性 岡本 真

- ・コロナ関係資料からみえてくるもの 持田 誠
- ・吹田市立博物館における新型コロナ資料の収集と展示 五月女 賢司

### 8. 3. 8 SIG「戦争関連資料の保全・継承に関する研究会」

#### (1) 研究会会合

- 第1回キックオフミーティング 2020/10/31
- 第2回キックオフミーティング 2020/11/29
- 第1回メンバーミーティング 2021/2/11
- 第2回メンバーミーティング 2021/3/4
- 第3回メンバーミーティング 2021/3/30

## 9. 後援等

NO	イベント名称	主催	開催日	場所	種別
1	Code4Lib JAPAN カンファレンス 2020	Code4Lib JAPAN	2020/6/20-21	愛知大学豊橋キャンパス	後援
2	JADH2020	日本デジタル・ヒューマニティーズ学会	2020/11/22-23	大阪大学	後援
3	人文科学とコンピュータシンポジウム（じんもんこん2020）	情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会	2020/12/12-13	オンライン	後援
4	第25回情報知識学フォーラム	情報知識学会	2021/1/9	オンライン	後援
5	映画の復元と保存に関するワークショップ IN KYOTO	「映画の復元と保存に関するオンラインワークショップ 2021」実行委員会	2021/1/23	オンライン	パートナー
6	ラウンドテーブル「デジタル公共文書を考えるー公文書・団体文書を真に公共財にするためにー」	DNP 学術電子コンテンツ研究寄付講座	2021/1/12	オンライン	後援
7	2020 デジタルアーカイブ産業賞授賞式	デジタルアーカイブ推進コンソーシアム (DAPCON)	2021/2/2	オンライン	後援

以上